

1.はがき新聞ってどんなもの？

「はがき新聞」という名前には、どのような意味が込められているか、確認します。上にあるように、「はがき」と「新聞」の2つの要素を取り入れたものだと考えます。「新聞」の要素が薄くなると、「はがきの大きさのカード」と変わりません。はがきのサイズに新聞の形式が入るわけですから、当然のことながら、文字数は限られます。

はがき新聞とは？

はがきサイズの用紙に
新聞の形式でまとめるもの

「はがき」

相手を思い浮かべ、伝えたいことを簡潔(限られた字数)に書く

+

「新聞」

見出しや図表(写真)を含めて、5W1Hを意識した文章を書く→記事



【はがき新聞の効果】

多くの実践から、たくさんの成果が表れていますが、特に挙げられるのが次の3点です。

- ①相手意識、目的意識明確化…「だれに、何のために書くのか？」
- ②要約、批評、情報活用能力の向上…「一番伝えたいことは何か？」
- ③交流活動の充実…「自分との共通点と相違点は？」「どのように書けばいいのか？」

この3点から、「主体的・対話的で深い学び」のキーワードが思い浮かぶかと思います。特に、各教科で実践される場合は、はがき新聞を書くことによって、子どもたちにどのような力を身に付けさせたいのかを明確にすることが大切です。限られた文字数なので、書くことが苦手な子にも得意な子にも、個に応じた支援が講じやすくなります。

2.はがき新聞はどのように作るの？

はがき新聞の大きな特徴の一つは、その名の通り「はがき大であること」です。「これならできそう」「自分もやってみよう」と、子供たちの意欲を引き出したり、限られた紙面に収めるために、必要なことを選んで伝える力を身に付けたりすることも期待できます。



《作成前の準備》

- (1) 相手意識をもつ：目上の方であれば敬語を使う、友達であれば親しく等、相手によって言葉遣いが異なります。また下級生へは未習漢字は使用しない等の気配りも大切です。
- (2) 目的を決める：お世話になった方へのお礼状、学校行事等への招待状など目的によって記事の内容や書き方が異なります。

《はがき新聞を作成しましょう》

- (1) 記事を決める：最も強く伝えたいことをトップ記事にする。
- (2) 枠をつくる：濃い色で、太く、はっきりと線を引く。
- (3) 段組みをする（見本は3段）
- (4) 題字（新聞名）を書く：わかりやすく、短く（4文字程度が目安）
- (5) 見出しを書く：一番伝えたいことを8文字程度の言葉にする
- (6) イラストや写真の場所を決める
- (7) 記事を書く（5W1Hが入らない場合もある）
- (8) 色付けの工夫をする
- (9) 仕上げ：誤字や脱字のチェック、文字に影を付ける等
- (10) 交流をする



- ・一番伝えたいことを8文字程度まで
- ・太く・大きく・カラフルに！

2段目は、イラストや写真のみでもOK！

- ・枠にオススメの色は赤・青・緑・紫・茶等
- ・濃く！太く！くっきりと！キュツ、キュツと音が鳴るくらい強く描く。



- ・4文字くらいまで
- ・太く・大きく
- ・背景とのコントラスト

年月日
学校名（年組）
名前

セカンド記事にも必ず見出しをつける